

# 回生 ニュース

社会医療法人 峰和会

K a i s e i N e w s

68号

2013.1月発行

発行/社会医療法人 峰和会  
編集/鈴鹿回生病院  
所在地/鈴鹿市国府町112番地1  
TEL/059-375-1212  
FAX/059-375-1717  
URL/http://www.kaiseihp.com  
編集協力/TCKnagoya



社会医療法人 峰和会  
理事長 長谷川 静生

新年あけましておめでとうございます。

平成 24 年、年の瀬の忙しい中で行われた解散総選挙でした。視界不良の中で将来の日本を選択した私達にとって平成 25 年はどのような年になるのでしょうか。その様な年末の 12 月、山中伸弥先生のノーベル医学・生物学賞の授賞式がストックホルムで行われました。予想された事とはいえ受賞は、東日本大震災以来、気持沈み気味の日本国民にとって、また私たち医療に携わる者としては特別の意味で大いに喜ばしいニュースでありました。ヒト iPS 細胞研究の成果は、基礎的研究と再生医療を含むあらゆる医学、薬学分野をこれまでに無いスピードで結びつけたと言われていています。まさに「夢の扉」を開けてくれたと言うことで

## 夢の扉

しょう。この「夢の扉」の奥から近い将来、多くの患者さんの喜びの声が聞こえてくることを考えると胸の高まりを覚えます。

昨年、鈴鹿回生病院では三度目となる病院機能評価の更新を行いました。職員全体が病院機能の評価作業を通して、各部署の問題点に向かい合いその対応を考える良いチャンスであったと思います。また 4 月には腎臓センターが開設され、併設の透析センターも稼働を始めました。社会医療法人としての 1 年目を良い形で終えることができたと言っていると、今後は、これらの施設を地域のさらに多くの方々に知っていただき、北勢地区の腎臓病治療の基幹的任務を担える施設として充実させていかなくてはなりません。

今年は法人にとって中期五カ年計画の最後の年となります。また第 6 次医療法の改正が行われる年でもあります。団塊世代が後期高齢者となる 2025 年に向けて、社会保障と医療分野のネットワークがどのような形で進んでいくのか、改正医療法でも何らかの示唆が盛り込まれると思われます。一般病床の機能再編は、福祉分野へも少なからず影響を及ぼすことが予想され、鈴鹿、亀山、紀伊長島 3 病院と介護老人保健施設「輝」を含めたグループ全体の方向性の確認と、組織の再構築も視野に入れる必要があります。

「医療の質」「医療の社会性」を念頭に、これからも前進し続けてまいりますのでよろしくお願いいたします。

2013年

# 両院長より新年のご挨拶

新たな方針を掲げました



鈴鹿回生病院  
院長  
田中 公

早いもので平成13年に新築移転してから、12年が経過いたしました。これまでも医療の質を保つため大型医療機器をリニューアルしてまいりましたが、今年度も地域医療に貢献すべく、順次更新を予定しています。

また、東日本大震災のような大規模災害が起こった時には、地域で果たすべき役割があります。いつ何が起きても困らぬよう、普段から準備し体制を整えなければなりません。これは病院だけではできないことですので、行政や医師会と連携しながら、役割の取り決めをすすめております。

昨年は今回で3回目となる病院機能評価を受審いたしました。病院機能評価というのは、患者さんのニーズに応え安全で安心できる医療を提供できているか否か、第三者の立場から評価していただくものです。第三者の方に客観的評価をしていただくことで、改善すべき問題点が明確になり職員の意識改革が進み改善にむけた的確な取り組みが可能となります。それに伴って病院の方針を見直しました。理念は普遍的なもので「生命への奉仕」と変わりませんが、今回、方針と目標を「方針」に一本化しました。

「地域の基幹病院として医療と健康の増進に貢献します」病気の治療だけでなく健康増進にも寄与し、「個人の尊厳を守ります」患者さん中心の医療を推進し、「チーム医療を推進し医療の質を向上させます」医師、看護師だけでなく、コメディカルや事務もすべてを含むチーム医療で「より安全で高度な医療を提供します」。そして最後の項目に「働きやすく健全な病院運営に努めます」を追加しました。患者さんに信頼していただけるような医療を提供させていただくためにも、職員が働きやすい環境が必要であり、大切なことだと考えています。以上の方針を新たに掲げ、今年も、我々の役目をしっかり果たして参りたいと思います。

一期一会の精神で……

当附属クリニックは、病院と診療所をつなぐ架け橋的な存在です。ここ数年で新たな専門外来が加わり、現在 17 の専門外来があります。この中身をさらに充実させ、病院と診療所との架け橋としてより質の高い医療の提供をこころがけて参りたいと思います。

これまで、毎年行ってきた「満足度調査」を、昨年より外部の調査会社に委託して行うこととなりました。外部に委託することで他院との比較が容易にできますので、職員にとっても良い刺激となります。昨年の「満足度調査」での全体評価は、平均点を上回る 81 点という高得点でした。ただ、患者さんにはご迷惑をおかけしている懸案の「待ち時間」については、30%の方が「不満および、やや不満」とのことで、平均をやや下回っていました。なかなか改善が難しい「待ち時間短縮」については、患者さんにはご迷惑をおかけしますが、せめて待った甲斐があったと思っていただけるような診療をこころがけたいと思っております。接遇面における調査結果は、残念なことに、医師、看護師ともに 70 点台で、他院に比べてすこし悪い結果となりましたので、接遇面にはよりいっそう力を注がなければなりません。茶道の世界に「一期一会」という言葉があります。一期とは一生のこと、一会とは一回の出会いのことを言います。この茶の席を、一生に一度きりの出会いと覚悟して、招く側の主人は客をもてなし、招かれた客はそのもてなしを有り難く受け取る。それが一期一会の精神です。医療の世界にも同じことが言えます。患者さんとの出会いも、これが一度きりの出会いだと思って接することで、より質の高い心のこもった接遇ができると思います。今年は、一期一会の精神で、接遇レベルの底上げを目指してまいります。



鈴鹿回生病院附属クリニック  
院長  
坂倉 康夫

## 連携医療機関紹介

## 服部医院



▲ 院長の服部博司先生

## 院長は横須賀市出身。

服部医院は、国道23号岸岡町交差点を東へ100mほどのところにあります。広々とした明るい待合にはお年寄りに優しい畳コーナーがあります。



院内に彩りを添えている、センスのいいトールペイントやシャドウボックス(※)は奥様の手作りです。お子様が幼稚園時代にママサークルで覚えられたそうです。手間暇かかるシャドウボックスを眺めながら「材料費よりも額縁の方が高かったんですよ」とおっしゃる奥様。お子様が大きくなった今でも時々作られるのだそうです。



※シャドウボックス元になる同じ絵柄を複数使用し、各パーツを細密に何層にも切り重ねることで立体感を持たせ、二次元のプリントを三次元に見せる立体デコパージュ。

院長の服部博司先生は、昭和58年(1983年)滋賀医科大学をご卒業後、第一外科に入局され大学近くの能登川病院で消化器外科医として研鑽をつまれました。実は神奈川県横須賀市出身の先生。三重県にいられたきっかけは、大学時代の先輩のお手伝いで塩川病院に勤務したことでした。この街は居心地が良く、出身地である横須賀に戻られることなく平成7年この地に開業されました。

現在先生を筆頭に薬剤師の奥様、看護師2名、事務3名、計7人体制で診療にあたっています。

## 健康に気をつけていること。

タバコをやめて8年経過したという先生ですが、20歳から49歳まで一日60本吸っておられたのだとか。患者さんに「タバコをやめなさい!」と言っている張本人がヘビースモーカーでは説得力もありません。そんな中みんなが禁煙できずに苦勞をしているので、「そんなに大変なのか?」と思い自ら禁煙に臨んだそうです。

「当時は禁煙外来もなかったので気合いと根性だけでやめました(笑)。禁煙して若干太りましたが、あれこれ同時にはじめると良くないので段階を踏んで、まずは禁煙、その1年後くらいから運動を始め、次にコーヒーに砂糖を入れるのをやめました。角砂糖を3つも入れて飲んでいたので、現在はミルクだけです。また、自宅から2キロくらいを自転車通勤しています」。今では患者さんに胸を張って『禁煙』『運動』を勧めておられるそうです。

## 患者さんへのメッセージ

～地域の皆さまから信頼される、かかりつけ医を目指しています。受付の対応も早く、リラックスした雰囲気の中診療をお受けいただけます。往診や在宅

## DATA

TEL 059-388-1682

## 住所

鈴鹿市岸岡町3385-1

## 診療科目

●外科●内科●胃腸科  
●リハビリテーション科

## 診療時間

午前/9時00分～12時00分

午後/4時00分～7時00分

|    | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 午後 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × |

## 休診日

木曜午後、日曜、祝日



診療、時間外・急患の対応(要電話)警察医もいたしております。地域の皆さんの健康維持・管理、福祉の増進に寄与し、頼れるサポーターでありたいですね。サンダルとランニングシャツでも気楽に行ける駅前の大衆食堂のような感覚でお越しくください。「こんなことで医者へ行ったら笑われる」とおっしゃる方がおられますが、そんなことはありません。どんな些細なことでも気になります。がありましたら遠慮無く受診してください。～

今後も、頼れるサポーターとしてご活躍されることでしょう。





リハビリテーション課  
作業療法士  
坂 尚樹

認知症の家族を持った  
家族の対応



認知症への対応

①事実の誤りに対して…

- i) 考えを否定しない
- ii) 話題を替えて興味をそらす
- iii) 認知症の考えに合わす

②失敗行動に対して…

- i) 叱ったり、説得したりしない
- ii) 失敗しない環境を作る
- iii) 失敗行動の原因を考え、理解してもらう

point

認知症の方は、自分の訴えたいことを十分に言葉にすることができません。家族に「問題行動」としてとられがちな失敗行動は、言葉ではうまく表現できない認知症の方からのメッセージとして考えましょう。

発信@

栄養管理室

管理栄養士  
岡本 弘平



鯉ピックアップ食材  
(たら)

鯉つみれ鍋

●鯉(たら)

鯉は雪の降る季節に脂がのって美味しくなることや淡白な身が雪のように白いことや初雪の後に獲れだすことから「鯉」という字が当てられたとされています。また「たらふく」という言葉は、鯉が食欲旺盛でいつもお腹が膨れていることが由来とされています。

●他の食材との組み合わせ

今回使用する真鯉は高たんぱく・低脂肪で、肝臓にはビタミンAやビタミンDが豊富に含まれますが、切り身にはビタミン類は少ないため、今回の鍋の具にある春菊のような緑黄色野菜と組み合わせることでバランスのとれた一品となります。

【材料】4人分

|          |              |
|----------|--------------|
| 鯉つみれ     |              |
| 真鯉       | 3切れ (200g)   |
| 山芋       | 小 1/3本 (30g) |
| おろし生姜    | 小さじ 1/2杯     |
| A 片栗粉    | 大さじ 2.5杯     |
| 酒・みりん    | 各大さじ 1杯      |
| 塩        | 小さじ 1/2杯     |
| 白菜       | 1/8株         |
| えのき      | 1袋           |
| B 春菊     | 1袋           |
| しいたけ     | 4個           |
| 白ネギ      | 1本           |
| 人参       | 中 1/2本       |
| 油揚げ      | 30g          |
| 絹ごし豆腐    | 1丁           |
| C 水      | 1300ml       |
| 昆布       | 10cm×2枚      |
| 酒        | 大さじ 4杯       |
| 濃口醤油・みりん | 各大さじ 3杯      |

栄養成分1人分

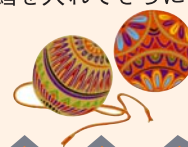
|       |         |
|-------|---------|
| エネルギー | 242kcal |
| たんぱく質 | 19g     |
| 脂質    | 6.2g    |
| 食物繊維  | 3.5g    |
| 塩分    | 3g      |



作り方

- ①鍋に水を入れ昆布を10分以上浸す。
- ②Bの食材を食べやすい大きさに切る。
- ③鯉の骨や皮を取り除きフードプロセッサーに入れ、Aを加えて粘りが出るまで混ぜる。(フードプロセッサーがない場合は、すり鉢で粘りが出るまで混ぜる)
- ④Cを合わせたものを火にかけ、沸騰したら③をスプーンで1杯ずつすくって落とし、火が通ったら一旦取り出す。
- ⑤鍋にBの食材と油揚げ、豆腐を入れ強火で加熱する。
- ⑥ある程度火が通ったら、④の鯉を入れてさらに中火で加熱する。

※塩分は全て飲んだ場合



# 病棟専任薬剤師

昨年6月より各病棟に専任薬剤師を配置しました。

病棟で業務を本格的に開始したのは平成5年。それから20年近くかかってしまいましたが昨年6月より、ようやく病棟に専任薬剤師を配置することができるようになりました。病棟専任薬剤師の氏名をナースステーションに掲示しています。

これに伴い、薬剤師が病棟で業務を行う時間が増えました。服薬指導でベッドサイドに伺った時だけでなく、病棟で姿を見つけた時には、薬に関して疑問に思うこと、不安に思うこと、何でも結構です。安心して治療に取り組めるようにお話しさせていただきます。お薬が服用しにくい場合は、患者さんに応じた工夫もさせていただきます。ご本人だけでなく、ご家族の方も何かあれば遠慮なくお声をかけてください。



## 病棟専任薬剤師が行う業務とは…

- 内服薬・外用薬・注射薬の処方状況を把握する
- 薬に関する情報を把握し医師・看護師などのスタッフに周知する
- 医師・看護師などのスタッフからの相談に対応する
- 入院時の持参薬を確認し、入院後の服用に関する提案をする
- 複数の薬を同時に投与する際、投与前に相互作用の確認をする
- 患者さんに対して特に安全管理が必要な薬の詳細な説明をする
- 注射薬の投与速度や投与量の計算を実施する
- その他

## 私達薬剤師が目指しているもの

それは、最小限の薬で最大限の治療効果を上げることです。そのために副作用の早期発見と防止、医療スタッフ・患者さんを問わず薬の安全に係る情報提供と提案を適切に行うことが私達薬剤師の使命です。薬に関わる全てに責任をもって業務に取り組んでいます。

## いしそつう 医志蘇通 C o l u m n

### ご意見にお答えします。

**Q** 11/1から6日に入院していますが、部屋の掃除が雑です。掃除直後でもゴミが落ちている始末。もう少し丁寧にしてもらいたい。しばらく様子を見ていたのですが、改善の気配が感じられなかったので、意見させていただきました。

**A** ご意見有難うございます。清掃担当者にいただいたご意見を見せながら指導致しました。今後とも患者さんが快適な療養生活を過ごしていただけるように、職員一同努めてまいります。

### ◆◆ お褒めの言葉をいただきました ◆◆

先生はじめスタッフの皆様、いろいろご迷惑おかけしたりしての入院生活でした。優しさを感じ、減入る気持ちの時も話を聞いてくださり、ありがとうございました。退院してもすぐに大手を振って喜べない心境ですが、ゆっくり気長に、主人をサポートしたいと思っています。本当にありがとうございました。

**A** 温かいお言葉ありがとうございます。今後もこのようなお言葉をいただけるよう、努めてまいります。

## 第 亀山市脳卒中 4 市民講座開催 回 ～ 亀山市文化会館にて～

11月11日(日) 亀山市文化会館にて第4回亀山市脳卒中市民講座を開催致しました。当日は大勢の市民の皆さんにご参加いただき、当院金丸副院長をはじめ他3名の医師により脳卒中に関する講演を行いました。



## ほっと smile

12月1日(土) 恒例のクリスマスコンサートを開催しました。職員によるハンドベル演奏、院内サークル「響」による三味線演奏や院内保育所「回生キッズ」のかわいい子供達による楽器演奏が披露されました。また、今回はゲストコンサートとしてマンドリンアンサンブルの「セシリア」さんにご参加いただき、美しいマンドリンの音色がクリスマスらしさに彩りを添えてくれました。

### クリスマスコンサート



Jugyukai Hospital Christmas Concert

## 鈴鹿少年野球教室

今年も鈴鹿少年野球教室が12月1日(土)に開催されました。17チーム約300名の子供達が参加。阪神タイガースOBの選手で作る「天地会」のメンバーの吉田義男元監督らによる指導を受け、真剣に取り組んでいました。



## 鈴鹿シティマラソン

12月16日(日) 第15回鈴鹿シティマラソンが鈴鹿サーキットにて行われました。当日は医科学相談コーナーを設置し、出場者からの質問に当院の専門医師をはじめ理学療法士、作業療法士、アスレチックトレーナーが対応し、また救護係として走者のサポートを行いました。



## 第9回健康セミナーを開催します

2月2日(土) 13時半～、研修医棟3階にて健康セミナーを開催します。皆さんお誘いあわせの上、ご参加ください。

|          |                                    |
|----------|------------------------------------|
| 講話<br>内容 | ・アルコールと健康 (健康管理セクター長 千田 豊)         |
|          | ・より良い睡眠のために (婦人科医師 川口 香)           |
|          | ・運動をやってみよう (健康運動指導士 深間内 誠)         |
|          | *他、体脂肪率測定、健康相談等。詳細は院内の配布資料をご参照下さい。 |

## かいせいきっず info

今月はミノムシを作りました。月齢の大きい子供はのりを使ってペタペタとミノムシの洋服を作り、月齢の小さい子供は簡単に貼れるように両面テープを使って作りました。ミノムシさんもこれで寒い冬も無事に過ごせそうです。



### 編集後記

今回は「新年のご挨拶」を中心に、医療連携紹介などをお送りいたしました。皆さんから本誌へのご意見・ご感想・ご要望等がございましたら、広報委員会までお寄せください。



病院のボランティアの方へ毎週美しく生けていただいております。(病院長)

### 開設の理念

### 生命への奉仕

### 病院の方針

- ▶ 地域の基幹病院として医療と健康の増進に貢献します
- ▶ 個人の尊厳を守ります
- ▶ チーム医療を推進し医療の質を向上させます
- ▶ より安全で高度な医療を提供します
- ▶ 働きやすく健全な病院運営に努めます

鈴鹿回生病院 広報委員会

〒513-8505 三重県鈴鹿市国府町112番地1

TEL059-375-1212 mailinfo@kaiseihp.com